

東北新幹線古川～仙台間はやぶさ・こまち6号が走行中に連結部が外れ停車した事象について

9月19日（木）8時07分頃に東北新幹線はやぶさ・こまち6号が古川～仙台間を走行中、はやぶさ号とこまち号の連結部が外れ、自動的にブレーキが動作し停車しました。車両点検などを行った後、13時12分に全線にて運転再開しました。

多くのお客さまに、ご迷惑とご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。
本事象について、これまでに判明した状況、緊急点検並びに今後の対応について報告いたします。

1. 概況【別紙1】

9月19日（木）8時07分頃、東北新幹線はやぶさ・こまち6号（はやぶさ6号 盛岡発・東京行 E5系10両、こまち6号 秋田発・東京行E6系7両 併結編成）は古川～仙台間を走行中、はやぶさ号とこまち号の連結部（10号車と11号車の間）が外れ自動的にブレーキが動作し停車しました。その後車両および線路上の点検を行い、はやぶさ6号とこまち6号はそれぞれ単独編成にて仙台駅まで運転しました。また、13時12分に全線にて運転再開しました。

なお、本事象による列車の脱線はありませんでした。また、お怪我をされたお客さまは確認されておられません。

列車影響

運 休 下り35本 上り37本 計72本
遅 れ 下り17本 上り18本 計35本 （はやぶさ8号に最大351分の遅れ）
影響人員 約45,000人

2. これまでに判明した状況【別紙2・3】

はやぶさ・こまち6号の運転士は、古川～仙台間を走行中、自動的に非常ブレーキが動作し、東京起点357k900m付近に停車しました。

同列車の運転士による点検により、はやぶさ・こまち6号は所定17両編成のところ、はやぶさ号とこまち号の連結部が外れていることを確認しました。

(1) 発生時の走行速度

約315km/h

(2) 停車した後の車両間距離

約300メートル

(3) 当該車両の連結器の状況

外観に異常は認められませんでした。

(4) 当該車両の車輪の状態

外観に異常は認められませんでした。

(5) 出発駅（盛岡駅）での併合状態

併合作業は通常どおり行われました。

3. 本事象を受けての緊急点検について

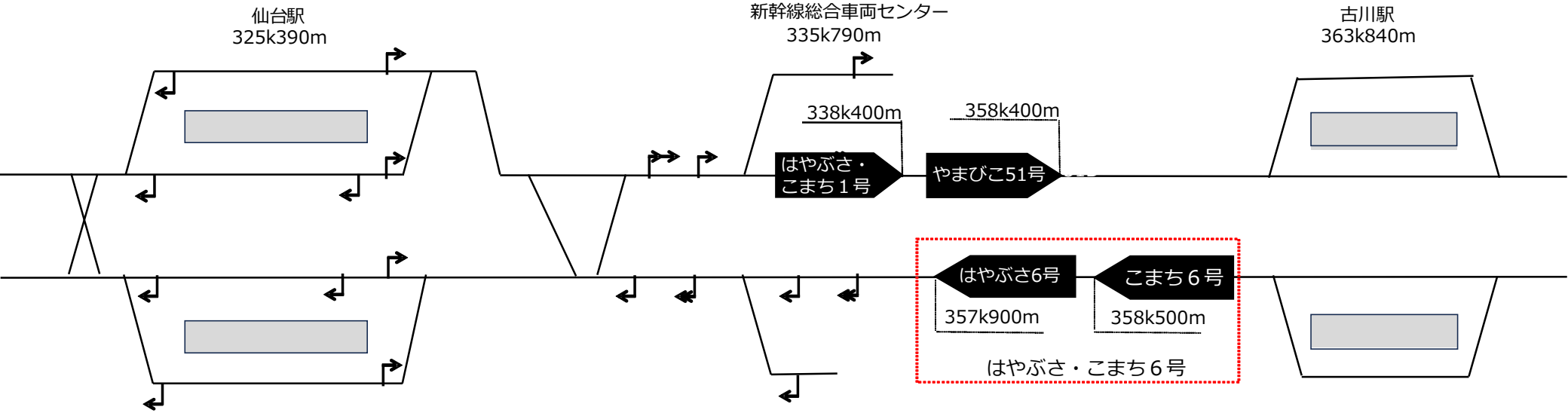
併合運転を行う全編成（96編成）において、目視により連結部の外観検査を実施します。

点検対象：E2系 6編成、E3系 10編成、E5系 51編成、E6系 23編成、E8系 6編成

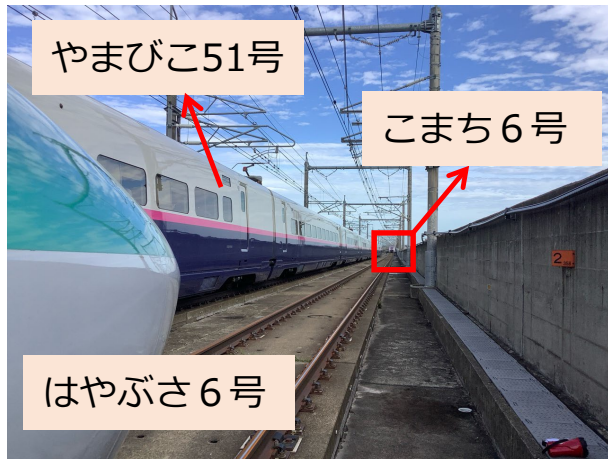
4. 今後について

緊急点検を速やかかつ確実に実施するとともに、原因究明を行い、必要な対策をとってまいります。多くのお客さまに、ご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

車両停車位置略図



関係写真



【現地写真】



【はやぶさ6号：連結器写真】



【こまち6号：連結器写真】



【こまち 6号：連結器写真】

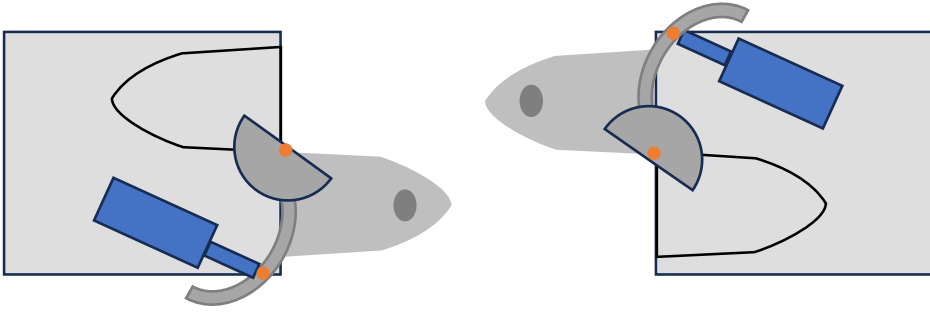
外観に異常なし



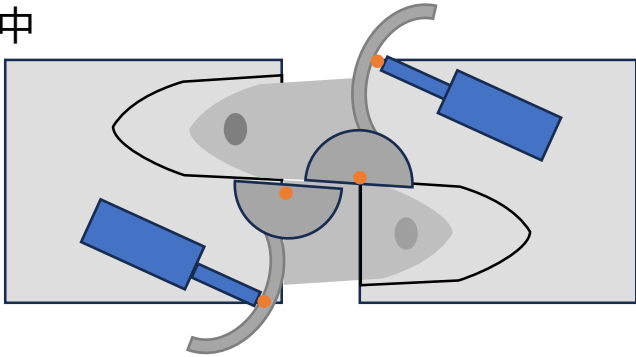
【はやぶさ 6号：連結器写真】

外観に異常なし

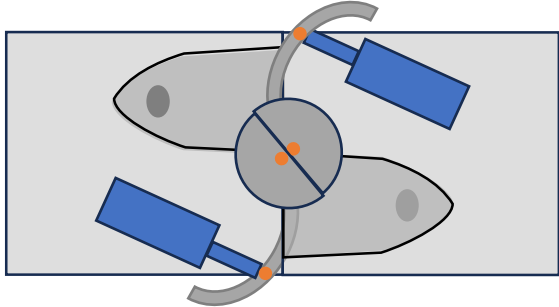
单独状态



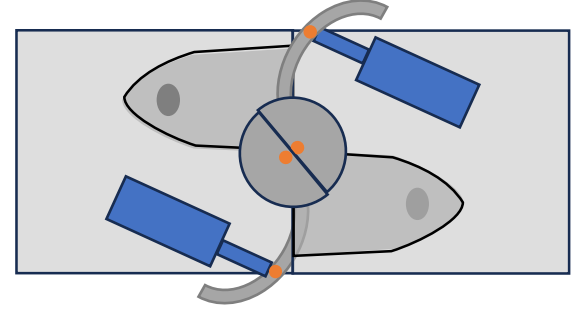
併合準備中



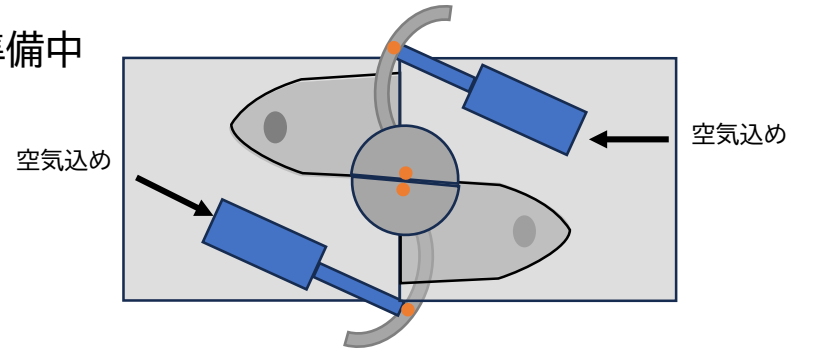
併合状態



併合状態



分割準備中



分割状態

